

第158回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2002年5月31日(金) 13時~17時45分

会場: 東京理科大学記念講堂(1号館、17階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話: 03-3260-4271、交通: JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

講演主題: HPLCにおける分析値の信頼性

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)
(産業技術総合研究所) 鎗田 孝
2. 化学分析における信頼性保証の考え方 (13:05~13:50)
(産業技術総合研究所) 久保田 正明
3. 標準物質総合情報システム(RMinfo)の紹介 (13:50~14:10)
(製品評価技術基盤機構) 石川 花子
4. 医薬品分析におけるHPLC法のバリデーション (14:10~14:45)
(国立医薬品食品衛生研究所) 花尻 瑠理
5. HPLCの精度管理 (14:45~15:20)
(横河アナリティカルシステムズ(株)) 大河原 正光
6. 確かな分析結果を得るためのソフトウェアの信頼性確保 (15:35~15:55)
(日本ウォーターズ(株)) 腹巻 ゆかり
7. 不確かさ評価の基礎と応用 (15:55~16:30)
(産業技術総合研究所) 榎原 研正
8. LC分析における不確かさの評価例 (16:30~17:05)
(株)島津製作所) 大垣内 誠
9. データ処理における不確かさの検討 (17:05~17:25)
(株)日立ハイテクノロジーズ) 伊藤 正人
10. 総括: 確かなHPLC分析に向けて (17:25~17:45)
(東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員: 1,000円、その他: 3,000円(当日受付にてお支払い下さい)、学生は無料。

共催学会等：日本化学会，日本薬学会

カタログ展示

1小間：5,000円（場所スペースは運営委員に一任させていただきます）

懇親会

講演終了後，講師を囲んで立食パーティー形式で開催します（1号館17階大会議室）。会費：1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書（[ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい）にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい（定員をオーバーした場合のみご連絡します。）

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
（社）日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話：03-5487-2790、FAX：03-3490-3572]